

Q

## 集会の時間が長い……。

なぜ教会の集会は時間が長いのでしょうか。

(20代・女性)

Q+A

教会  
質問箱

A

山元 眞

(行橋カトリック教会司祭)

ミサの奉仕をしてくれる子どもたちから、ときどき聞かれます。

間の長さが気になるので

が行われる。そのすべてが神とのつながりを深めるものです。神とのかかわり、つながり、交わりを深めるためには、「沈黙の時」を欠かすことはできません。礼拝に時宜にかなった沈黙を取り入れることによって参列者は神と出会い、神とのつながりを深めることができます。

「今日のミサは長いので。」

礼拝やミサを「義務」と捉える方もいるようです。「しなければならぬからする」という考えです。幼少の頃からの信者である方に多いようです。「したいからする」という思いになったら、どんなに素晴らしいでしょう。

そう言った子どもたちも、ミサが終われば、たいていの場合「今日のミサは早く終わったね」と言います。何かの所要時間が長かったり、短かったりするのは、多分心理的なものだと思われます。一般的に、いやなことは「長く」感じますし、楽しいことは「短く」感じるものではないでしょうか。

う。

そのように思えるためには、集会や礼拝、ミサが意味あるものにならないければならないと考えます。習慣的なものになり、意味が見えない形だけのものになれば、窮屈で拘束されているように感じさせることにもなるでしょう。

ある教会では日曜礼拝に子どもたちも参加し、3歳児でも前の方で最後まで礼拝に付き合います。3時間近くかかる復活夜祭では、小学生で活徹夜祭では、小学生でも眠らないで大人と一緒に礼拝して、終わりには喜々として復活祭の卵を配ります。

集会や礼拝、ミサを拘束時間ととらえれば、もうそれだけで「長い」と感じてしまうでしょう。

でしよう。

配ります。

先の子どもの質問がそれを表しています。「拘束される」と思えば、その時

葉が読まれ、そして説教

賛美歌が歌われ、祈りが唱和され、聖書のみ言

なんでも聞いちゃおう！質問大募集

質問は、郵便またはファクス(03・3260・6699)、Eメール(shimbunhenshubu@kirishin.com)で新聞編集部「教会質問箱」係までお寄せください。